

# 島根県西部山村振興財団管理棟舎等 施設利用規則

## （趣旨）

第1条 公益財団法人島根県西部山村振興財団（以下「財団」という。）の管理棟及び管理棟敷地内を地域コミュニティや学校等の研修、サークル活動等に開放し、それらの活動を通して、地域コミュニティの活性を図ることを目的とする。

## （定義）

第2条 この規則において「管理棟舎等」とは、財団の管理棟及びその附属施設をいう。この利用規則は、財団管理棟舎等管理規則（以下「管理規則」という。）に準じて作成するものとする。

## （使用時間）

第3条 管理棟舎等の使用を許可する時間は、土日祝日と年末年始休暇（12月29日から翌年1月3日迄）、夏期休暇（以下「日曜日等」という。）、及び財団行事のある日を除く、平日の午前9時から午後5時までとする。

2. 財団事務局局長（以下「事務局長」という。）が、必要があると認めた場合は、日曜日等の使用を許可することもできる。

## （優先使用者）

第4条 公益的活動を目的とする利用者（団体）等に関しては、その使用を優先する。

## （利用者の申請及び許可）

第5条 当施設を使用しようとする者は、使用申請書（[様式第1号](#)）を財団事務局に提出して許可を受けなければならない。

2. 使用申請書の受付は、利用予定日の2ヶ月前からとする。

3. 使用時間には、準備、後片付けに要する時間も含まれる。

## （使用料）

第6条 前条により会議室・厨房・宿泊施設等の使用承認をうけた者は使用料（別記による）を納付しなければならない。

## （使用内容の変更・キャンセル）

第7条 前条5条により、管理棟舎等の使用の承諾を受けた後に、使用内容の変更または使用の取り消しをする場合は、使用予定日の前営業日の午後4時までに財団事務局に使用内容の変更又は使用の取り消しを連絡しなければならない。

(施設・設備の棄損等の届け出)

第8条 管理棟又は敷地内において、その施設若しくは設備を滅失し、又は棄損した者は、速やかにその旨を財団事務局に届けなければならない。

(使用の制限)

第9条 事務局長は、申請者が以下の次号のいずれかに該当するときは、財団施設の使用を許可しない。

- (1) 登録者らが暴力団等に該当すること、暴力団等に支配されていること、又は暴力団等との関係を有していることが判明したとき。
- (2) 特定の宗教団体の宗教活動に利用すると認められるとき。
- (3) 公益に反するおそれがあるとき。
- (4) その他事務局長が財団施設の管理上支障があると認めるとき。

(遵守事項)

第10条 管理棟又は敷地内において、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 施設若しくは設備を汚損し、又は棄損するような行為をしない。
- (2) 許可を受けた施設以外の場所を無断で使用しない。
- (3) 所定の場所以外に自動車、自転車を放置しない。
- (4) 館内での喫煙をしない。
- (5) 火災その他災害の防止に万全を期する。
- (6) 使用した施設等は清掃し、備品は元の位置に戻し、ゴミは必ず持ち帰ること。

(使用承諾の解除、使用の中止)

第11条 次の各号に該当する場合には、使用承諾済、または当該施設の使用中であっても使用承諾の解除・使用の中止等を行うことがある。尚、その結果、申請者または使用者に損害が生じる場合があっても、財団は一切の責任を負わない。

- (1) 前条第9条「使用の制限」に該当すると判明したとき。
- (2) 使用者が、前条第10条「遵守事項」に従わなかったとき。
- (3) 「使用申請書」に意図的に虚偽の記載をしたとき。
- (4) 天災その他の不可抗力によって、当該施設の使用ができなくなり、または、人身・財産に危険が乗じると事務局長が判断したとき。
- (5) 管理棟舎等の管理・運営上、やむを得ない事由が生じたとき。

附則 平成26年4月1日から施工する。